

現代用語辞典

木藤 茂 (金属)

今は新しい言葉・略号がどんどん出てくる。最近、もっとも戸惑ったのは DX である。この DX を含めて、Wikipedia 等を参考にしてまとめてみた。正確でない点もあろうがご容赦願いたい。

- AI** : Artificial Intelligence の略。人工知能と訳されるが、「コンピュータ上に人間のような知能を再現する技術」と定義される。ビッグデータからディープラーニング (深層学習) することで、AI が新聞記事を書いたり、医療では CT・MRI 等の画像判断に利用中。
- IT** : Information Technology の略。情報技術と訳される。情報の取得・加工・保存・伝送が範疇。かつて、どこかの国の元首相が、イットと読んで世間を震撼させた。
- ICT** : Information & Communication Technology の略で、情報通信技術になる。単純にいうと IT はパソコンの中に限定されるのに対し、ICT では速く大量にデータ通信する技術も含む。
- IoT** : Internet of Things の略。パソコン・スマホだけでなく、TV, 自販機, 工場の設備等もインターネットに繋いで日夜状況を把握する。医療関係でも自宅にいる患者のセンサーからのデータを病院のパソコンに送ることが可能となる。工場でも生産量・在庫量を把握出来、必要資材を自動発注する事が可能になる。顔認識技術も画像を送信する事で幅広い利用方法が出てくる。
- Industry4.0** : ドイツより出てきた言葉で、第 4 次産業革命になる。第 1 次 (蒸気機関の利用)、第 2 次 (石油と電力の利用)、第 3 次 (センサー・コンピューター利用による自動化) に続き、IoT、AI、ロボットの利用による更なる効率化・高品質化を意味する。
- Society 5.0** : 狩猟社会 I ⇒ 農耕社会 II ⇒ 工業社会 III ⇒ 情報社会 IV と発展してきたが、さらに、ICT、AI、IoT、ロボット等を駆使して、5 番目の新しい社会を形成する時代が始まったという意味。
- 5G** : 第 5 世代 (Generation) の意。携帯電話の進化を意味するが、5G は IoT の本格化に不可欠である。1G⇒音声のみ、2G⇒メール、3G⇒写真・音楽、4G⇒動画と発展し、5G では映画を数秒で送受信可能となる。NTT ドコモの i モード (1999 年) は第 2 世代に相当し一世を風靡した。
- 4K・8K** : TV の画素数になり、4K の画素数は 3840X2160 で 3840÷4K としている。同様に 8K は 7680X4320 になる。50 インチ前後の液晶 TV では、従来のフルハイビジョン (2K) では画像が粗くなるので、4K が綺麗に映る。地上波 TV の電波は 2K だが、データ処理で 4K 変換している。
- CSR** : Corporate Social Responsibility の略。企業の社会的責任の意味。2000 年頃から使われだしたが、最近 CSR ではなく SDGs での取り組みを発表する企業が多い。
- SDGs** : Sustainable Development Goals の略。持続的発展目標になり、17 種のゴールがある。
- ESG** : Environment (環境)、Social (社会)、Governance (ガバナンス) になり、ESG 投資の言葉がある。従来は、技術力、利益率等で投資指標だったが、SDGs、コンプライアンス (法令遵守)、及びガバナンス (企業統治) を考慮しているか否かが企業投資において重要になってきている。
- BCP** : Business Continuity Plan の略。事業継続計画になり、災害等の突発時にも対処して事業継続・復旧を図るための計画を予め作成する必要がある。
- DX** : Digital Transformation (デジタル変革) になり、デラックスではない! ICT、AI、IoT を用いて企業の管理体制を再構築することが必要とされる。Transformation の同義語に Exchange があり、DT となるべきところが、ゴロの良い DX になったようだ。
- ZEV** : Zero Emission Vehicle 排ガスを出さない車になり、電気自動車 (EV)、燃料電池自動車 (FCV)、プラグインハイブリッド車 (PHV) になり、ハイブリッド車 (HV) は含まれない。